

外国語活動学習指導案

学習者 附属小学校4年1組 33名

指導者 伊東 大智

ALT Edward Kellerman

単元名 夢のおにぎりのアイデアを広げて、おにぎりパーティーをしよう！！
(教材 4年—Unit 7 What do you want? ほしいものは何かな?)

1. 単元の目標

おにぎりパーティーに向けて夢のおにぎりのアイデアを広げるために、欲しい具について、慣れ親しんだ簡単な語句や既習の基本的な表現を使ったり、ゆっくり話したり、繰り返したり、動作を交えたりするなど、相手に伝わるように工夫しながら、質問をしたり質問に答えたりして伝え合うことができる。

※なお、本単元における「聞くこと」については目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。

2. 単元について

必然性	おにぎりパーティーに向けて、夢のおにぎりにどんな具を入れればよいかアイデアを広げる
リアル感	夢のおにぎりづくりやおにぎりパーティーが実現する
楽しさ	夢のおにぎりに入れたい具を考えたり互いに交流し交換し合ったりする楽しさ
相手意識	入れたいおにぎりの具について友だちに伝わるように質問したり答えたりしようとする意識

3. 言語材料 (下線は新出表現)

- What do you want? I want ~, please. How many? (Two), please. Here you are. Thank you.
- 果物・野菜(vegetable, potato, cabbage, corn, cherry), 飲食物 (sausage)

[既出] What's this? It's ~. Do you have ~? Do you like ~? Yes, I do. / No, I don't. I [have / don't have] ~.
果物・野菜, 飲食物, 数 (1~60)

[期待する既習表現] I [like / don't like] ~. Here you are. Thank you. Thank you very much! You're welcome. Sorry. I'm sorry. Look. Really? Me, too. My turn. Your turn. I think so, too. I have a question. Question, OK? Pardon? One more time, please. Slowly, please. More loudly. Nice idea! Don't worry. O.k.! Wonderful! Fantastic!

4. 該当する学習指導要領における領域別目標と、本校における Challenge・Can-Do リストとの関連

話すこと [やり取り]	学習指導要領 【CS】	ウ サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりするようになる。
	Challenge リスト 【CL】	(ウ) サポートを受けて、体調や気分を表す言葉や、食べ物や文房具、校内の場所などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりしようとする。

5. 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと [やり取り]	おにぎりの具について、What do you want? や I want ~, please.などを用いて、質問をしたり質問に答えたりすることに慣れ親しんでいる。	夢のおにぎりをつくるために、欲しい具について、慣れ親しんだ簡単な語句や既習の基本的な表現を使ったり、ゆっくり話したり、繰り返したり、動作を交えたりするなど、相手に伝わるように工夫しながら、質問をしたり質問に答えたりして伝え合っている。	夢のおにぎりをつくるために、欲しい具について、慣れ親しんだ簡単な語句や既習の基本的な表現を使ったり、ゆっくり話したり、繰り返したり、動作を交えたりするなど、相手に伝わるように工夫しながら、質問をしたり質問に答えたりして伝え合おうとしている。

6. 「話すこと〔やりとり〕」に焦点をおいた単元の指導と評価の計画（4時間）

時	目標(◆)と主な活動(【 】, ○) 【 】=誌面化されている活動	評価			
		知 技	思 判 表	態 度	◎評価の観点(評価規準)〈方法〉
1	<p>◆単元の見通しを持つとともに、おにぎりの具の言い方を知る。</p> <p>○Let's listen ：おにぎりの具を交換し合う動画を見て、どのようなやりとりをしているか考える。</p> <p>○本単元ではおにぎりパーティーに向け「夢のおにぎり」のアイデアを広げていくという見通しを持ち、単元を通した目標と学習計画を立てる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">夢のおにぎりのアイデアを広げて、おにぎりパーティーをしよう！！</div> <p>○本時のめあてを立てる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">夢のおにぎりにどんな具を入れるか考え、言い方に慣れよう。</div> <p>○入れたい具の言い方を既習の語彙をもとに予想したり、ALTに質問したりしながら繰り返し発話し、英語表現に慣れ親しむ。</p>				<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p>
2	<p>◆欲しい具について、質問したり質問に答えたりする表現に慣れ親しむ。</p> <p>○本時のめあてを立てる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">欲しいおにぎりの具について質問したり答えたりする言い方に慣れよう。</div> <p>○Let's listen ：おにぎりの具を交換し合う動画を見て、やりとりに必要な表現を考える。</p> <p>【Let's Chant】：What do you want? P.27</p> <p>○HRT や友だちとやりとりしながら表現に慣れ親しむ。</p> <p>○Activity ：欲しい具について質問し合い、交換し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>[想定される児童の姿]</p> <p>児童1：Hello. 児童2：Hello.</p> <p>児童1：What do you want?</p> <p>児童2：I want mentaiko, please.</p> <p>児童1：Here you are.</p> <p>児童2：Thank you.</p> </div>	や			<p>「話すこと(やり取り)」の記録に残す評価</p> <p>◎おにぎりの具について、 What do you want? や I want ~, please. などを用いて、質問をしたり質問に答えたりすることに慣れ親しんでいる。 (動画点検・振り返りシート記述点検)</p>

	○やり取りにおける困りを出し合い、やり取りで 使えそうな既習の表現や伝え方を考えさせてい く。				
3 本 時	◆欲しい具について、慣れ親しんだ簡単な語句や既習の基本的な表現を使ったり、ゆっくり話したり、 繰り返したり、動作を交えたりするなど、相手に伝わるように工夫しながら、質問をしたり質問に 答えたりして伝え合う。				
	<p>【Let's Chant】：What do you want? P.27</p> <p>○本時のめあてを立てる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>欲しい具を交換し合って、夢のおにぎりの具 のアイデアを増やそう。</p> </div> <p>○前時の困りの解消に向けた話し合いを振り返り、本時の Activity で使えそうな既習の語句や 表現を確認する。</p> <p>○Activity ：欲しい具について質問し合い、交換し合う。 途中、困りの解決方法や友だちの表現のよさ を交流し合い交流に生かす。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>[想定される児童の姿]</p> <p>児童 1：Hello. 児童 2：Hello.</p> <p>児童 1：Look. This is my dream rice ball. What do you want? (画面を相手に見せながら)</p> <p>児童 2：<u>What's this?</u> (指さしながら)</p> <p>児童 1：<u>It's salmon.</u></p> <p>児童 2：<u>One more time, please.</u> ...(動作をつけて)...</p> <p>児童 1：<u>It's salmon. (ゆっくりと)...</u></p> <p>児童 2：<u>Salmon? Nice idea! I like salmon.</u></p> <p>児童 1：<u>Me, too!</u></p> <p>児童 2：<u>What's this?</u> (指さしながら)...</p> <p>児童 1：<u>It's fried chicken.</u> <u>Fried chicken.</u> ...(相手の反応を見ながら繰り返す)...</p> <p><u>Do you like fried chicken?</u></p> <p>児童 2：<u>No, I don't. Sorry.</u></p> <p>児童 1：<u>Don't worry.</u></p> <p>児童 2：<u>I want salmon, please.</u> ...(指さしながら)...</p> <p>児童 1：<u>Salmon? O.K! Here you are.</u></p> <p>児童 2：<u>Thank you.</u></p> <p>児童 1：<u>You are welcome.</u> <u>Your turn. (動作をつけて)</u></p> <p>児童 2：～ 児童 1：～</p> </div>			<p>「話すこと(やり取り)」の記録に残す評価</p> <p>◎夢のおにぎりをつくるた めに、欲しい具につい て、慣れ親しんだ簡単な 語句や既習の基本的な表 現を使ったり、ゆっくり 話したり、繰り返した り、動作を交えたりす るなど相手に伝わるよ うに工夫しながら、質 問をしたり質問に答 えたりして伝え合っ ている。</p> <p>〈行動観察・振り返りシ ート記述点検〉</p> <p>◎夢のおにぎりをつくるた めに、欲しい具につい て、慣れ親しんだ簡単な 語句や既習の基本的な表 現を使ったり、ゆっくり 話したり、繰り返した り、動作を交えたりす るなど相手に伝わるよ うに工夫しながら、質 問をしたり質問に答 えたりして伝え合おう としている。</p> <p>〈振り返りシート記述点 検〉</p>	

4	◆欲しい具について、慣れ親しんだ簡単な語句や既習の基本的な表現を使ったり、ゆっくり話したり、繰り返したり、動作を交えたりするなど、相手に伝わるように工夫しながら、質問をしたり質問に答えたりして伝え合う。			
モ	【Let's Chant】： What do you want? P.27			
①	○本時のめあてを立てる。			
	欲しい具を交換し合って、夢のおにぎりの具のアイデアを増やそう。			
	○前時の Activity を振り返り、相手意識を持ったやりとりをするために使いたい語句や表現、伝え方を確認する。			
モ	○Activity			
②	：前時の学習を生かしながら、欲しい具について質問し合い、交換し合う。途中、困りの解決方法や友だちの表現のよさを交流し合い交流に生かす。			
モ	○やりとりを動画に残し、単元を通じた成長を記録する。			
③		や	や	
				<p>「話すこと(やり取り)」の記録に残す評価</p> <p>◎夢のおにぎりをつくるために、欲しい具について、慣れ親しんだ簡単な語句や既習の基本的な表現を使ったり、ゆっくり話したり、繰り返したり、動作を交えたりするなど相手に伝わるように工夫しながら、質問をしたり質問に答えたりして伝え合っている。</p> <p>〈行動観察・動画点検〉</p> <p>◎夢のおにぎりをつくるために、欲しい具について、慣れ親しんだ簡単な語句や既習の基本的な表現を使ったり、ゆっくり話したり、繰り返したり、動作を交えたりするなど相手に伝わるように工夫しながら、質問をしたり質問に答えたりして伝え合おうとしている。</p> <p>〈振り返りシート記述点検・動画点検〉</p>

7. 本時の指導

単元名	夢のおにぎりのアイデアを広げて、おにぎりパーティーをしよう！！ 3/4時間		
本時のねらい	欲しい具について、互いにとってより伝わりやすいやり取りにするための方法を考えながら尋ね合う活動を通して、慣れ親しんだ簡単な語句や既習の基本的な表現を使ったり、ゆっくり話したり、繰り返したり、動作を交えたりするなど、相手に伝わるように工夫しながら、質問をしたり質問に答えたりして伝え合うことができるようにする。		
準備	掲示用キーセンテンス デジタル教材 タブレット端末(ロイロノート) 振り返りシート 掲示用「コミュニケーションの宝箱」		
(評価規準)	欲しい具について、慣れ親しんだ簡単な語句や既習の基本的な表現を使ったり、ゆっくり話したり、繰り返したり、動作を交えたりするなど相手に伝わるように工夫しながら、質問をしたり質問に答えたりして伝え合っている。		
具体的な児童の姿	キーセンテンスに加え、既習の表現を使いながら、かつ、相手に合わせて、ゆっくり話したり、繰り返したり、動作を交えたりなどの伝え方の工夫をしながらやりとりをしている。 「What do you want?」「What's this? (指さしながら)」「It's salmon. Salmon (繰り返す)」「Nice idea! I want salmon, please. (指さしながら)」「OK. Here you are.」「Thank you. Your turn.」		

時間	児童の活動	指導者の活動 ①評価(方法)※支援を要する児童への手立て	準備物
5分	Greetings ○はじめのあいさつをする。 Warming up ○Classroom English Practice 【Let's Chant】 What do you want? (P.27)	・児童の言いやすいスピードに調整しながら言うようにする。	デジタル教材
2分	Activities ○本時のめあてを立てる。 欲しい具を交換し合って、夢のおにぎりの具のアイデアを増やそう。	・前時までの学習をもとに、本時のめあてを位置付ける。 ・おにぎりに入れたい具についてたくさんやり取りすることで、夢のおにぎりの選択肢を増やしていくという目的を確認する。	
5分	○Let's listen : HRT と ALT のやりとりを聞く ALT 不在の場合は、「Let's listen」は行わず、「Let's Talk」の時間を5分間延長する。	・HRT と ALT のやりとりを聞き、どのような内容の会話をどのような表現や伝え方でしていたか確認する。	
5分	○Let's think : やり取りに使えるような表現や伝え方を振り返る。	・「コミュニケーションの宝箱」を元に、前時のやり取りの中で出た、困りの解決方法や友だちの伝え方のよさを振り返り、やり取りをよりよくしていくために使っていきたい基本的な表現や伝え方について確認する。	掲示用「コミュニケーションの宝箱」

23分	<p>○Let's Talk</p> <p>: 夢のおにぎりに入りたい具について尋ね合い、具を交換し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>[想定される児童の姿]</p> <p>児童1 : Hello. 児童2 : Hello.</p> <p>児童1 : Look. This is my dream rice ball.</p> <p style="padding-left: 20px;">What do you want?</p> <p style="padding-left: 20px;">(画面を相手に見せながら)</p> <p>児童2 : <u>What's this?</u> (指さしながら)</p> <p>児童1 : <u>It's salmon.</u></p> <p>児童2 : <u>One more time, please.</u></p> <p style="padding-left: 20px;">(動作をつけて)</p> <p>児童1 : <u>It's salmon.</u> (ゆっくりと)</p> <p>児童2 : <u>Salmon? Nice idea! I like salmon.</u></p> <p>児童1 : <u>Me, too!</u></p> <p>児童2 : <u>What's this?</u> (指さしながら)</p> <p>児童1 : <u>It's fried chicken.</u></p> <p style="padding-left: 20px;"><u>Fried chicken.</u></p> <p style="padding-left: 20px;">(相手の反応を見ながら繰り返す)</p> <p style="padding-left: 20px;"><u>Do you like fried chicken?</u></p> <p>児童2 : <u>No, I don't. Sorry.</u></p> <p>児童1 : <u>Don't, worry.</u></p> <p>児童2 : I want salmon, please.</p> <p style="padding-left: 20px;">(指さしながら)</p> <p>児童1 : <u>Salmon? O.K! Here you are.</u></p> <p>児童2 : <u>Thank you.</u></p> <p>児童1 : <u>You are welcome.</u></p> <p style="padding-left: 20px;"><u>Your turn.</u> (動作をつけて)</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・途中 Half time を設け、ペアや全体で、欲しい具を尋ね合う際の質問の仕方や答え方、考えや気持ちの言い方等の困りの解決方法を考えたり、友だちの伝え方のよさを交流し合ったりすることで、後半の交流でよりよいやりとりを目指すことができるようにする。 ※おにぎりの具を伝えたり聞き取ったりすることが困難な児童は、ALTに言い方を聞きに行くよう助言する。 ◎欲しい具について、慣れ親しんだ簡単な語句や既習の基本的な表現を使ったり、ゆっくり話したり、繰り返したり、動作を交えたりするなど相手に伝わるように工夫しながら、質問をしたり質問に答えたりして伝え合っている。 〈行動観察・振り返りシート記述点検〉 ◎夢のおにぎりをつくるために、欲しい具について、慣れ親しんだ簡単な語句や既習の基本的な表現を使ったり、ゆっくり話したり、繰り返したり、動作を交えたりするなど相手に伝わるように工夫しながら、質問をしたり質問に答えたりして伝え合おうとしている。 〈振り返りシート記述点検〉 	<p>掲示用キーセンテンス タブレット端末 掲示用「コミュニケーションの宝箱」</p>
2分	<p>Comments</p> <p>○HRTとALTのコメントを聞く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ALT不在の場合は、HRTのコメントのみとする。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよくやりとりをするために、相手意識を持って表現や伝え方を工夫していく姿を価値付けるようにする。 	
3分	<p>○Reflection</p> <p>: 本時の振り返りをする。</p> <p>Greetings</p> <p>○おわりのあいさつをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよくやりとりをするためにどのような工夫をしたかという視点で振り返りを書かせるようにする。 	<p>振り返りシート</p>

